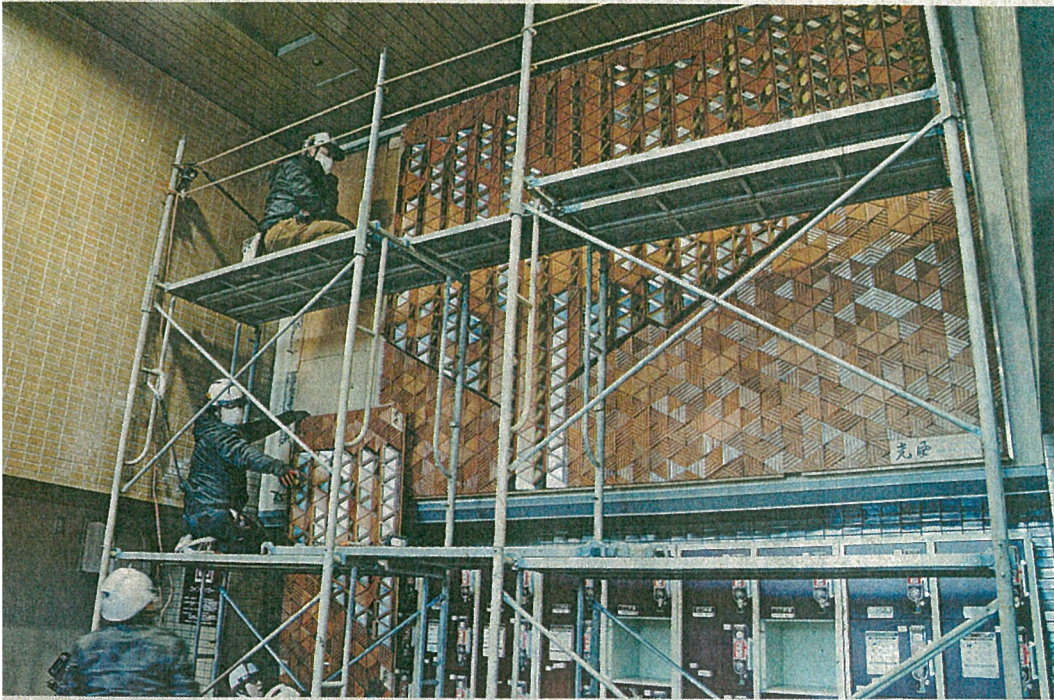


## 秋田市文化会館の壁面装飾

## 「光風」日新小新校舎へ



9月末に閉館した秋田市文化会館の入り口に飾られていた壁面装飾「光風」が、2024年度に改築予定の日新小学校に移設されることになった。15日、光風の取り外し作業が行われた。

光風は縦2・8枚、横4・6枚の木製作品。秋田市立美術工芸専門学校(現秋田公立美術大)が1984年に寄贈した。

文化会館の備品について、市は市内公共施設での活用を模索。このうち光風は、秋田美大と同じ新屋にあり、改築が予定されている日新小に飾られる見通しとなった。光風以外の備品についても、今月下旬まで各施設から寄せられた希望を取りまとめ、来年1月以降に物品の運び出しを始

める。

15日に行われた光風の取り外し作業は、市の依頼を受けた市内の木業者が、足場を組んで5人がかりで行った。光風は五つのパーツに分解することができるといい、業者がパーツを止めるホルトを外し、丁寧に分解して地上に降ろした。

光風は2024年度中の日新小新校舎完成に合わせ、校舎内に移設予定。それまでは

上新城小に一時保管されるという。

文化会館で事務長を務めていた澤田石真・市文化振興課参事は「文化会館のシンボルのような作品の利活用先が見つかってよかった。設置後は子どもたちに、文化会館の歴史を感じてもらえればいい」と話した。

市文化会館は来年度解体工事の設計を行い、24年度以降に解体の予定。(藤田祥子)

「光風」の取り外し作業を